



# 認定看護師 CN-NEWS VOL.13

2017年9月 第13号

認定看護師の活動や情報を紹介します

8月に開催した看護フェアでは、171名の方が参加してくださいました。ありがとうございました。



## 今後の予定

平成29年度 第1回 看護実践報告会  
～認定看護師が実践する卓越した  
ペットサイドケア～

日時:10月16日(月) 17:45～18:30

場所:臨床講義棟 第3講義室

### 発表者

- 1)古澤亜矢子糖尿病ケア認定看護師  
「インスリン療法を拒み続ける患者の  
意思決定支援と医療者の  
ジレンマを経験して」
- 2)内山寛美認知症看護認定看護師  
「せん妄予防・発症時・発症後の看護実践」

認定看護師が専門的知識・技術を生かした事例報告会です。臨床で活用できる内容となっておりますので、ご参加くださいますようお願い致します。

## 救急看護認定看護師になって 救命救急NS 高島 郁代



救急看護は、様々な年齢や疾患生活背景を持つ患者さんを対象として、限られた時間で適切な医療を提供し、かつ突然変化した状況に戸惑う患者さんやご家族への精神的なケアを行います。

救急看護認定看護師として、高い実践力を身につけ、看護の専門性を発揮できるよう自己研鑽していきたいと思っています。

本格的な活動はこれからですが、多職種が一丸となりチームとして急変対策ができるよう、活動していきたいと思っています。



## 9東NSでの活動

### 感染管理認定看護師 渡邊和恵

病棟では、院内感染を減らすため、サーベイランスとデータに基づいた対策の推進をおこなっています。

感染管理認定看護師の実践は、サーベイランスです。病棟業務と認定業務を平行して行う困難さがありますが、現状を把握しやすい兼任だからこそ、具体的な改善策を進めやすい利点があります。

感染対策における疑問があれば、些細なことでもよいのでご連絡下さい。よりよい感染対策について皆さんと考えていきたいと思っています。



## NICUでの活動

### 新生児集中ケア認定看護師 本村勅子



主な役割は、「ハイリスク新生児の病態変化を予測した重篤化の予防」「生理学的安定と発育促進のためのケアおよび親子関係形成のための支援」です。胎内から胎外生活への劇的な環境変化に新生児が適応することが重要であり、そのために必要な技術として新生児蘇生法(NCPR)があります。成人の一時救命処置(BLS)と同じく、コンセンサス2015に基づいたアルゴリズムに沿って蘇生を行います。定期的に新生児蘇生法講習会を開催しており、次回は2月の予定です。

新生児蘇生の技術向上を図りたい方は、ぜひ御連絡下さい。

裏面もあります



# すぐに活かせるベッドサイドケア

どこの病棟でも接する機会が多い患者さんについて専門分野からベッドサイドケアのポイントを紹介します！



## せん妄予防のワンポイントケア

6階西NS 緩和ケア認定看護師 奥田久美

せん妄のケアで困っている人は多いと思います。せん妄の要因となる薬剤があることはご存知ですか。見逃されやすく、使用頻度の高い薬剤をあげてみます。

H2受容体拮抗薬(シメチジン、ラニチジン、ファモチジン)、副腎皮質ステロイド薬、メクロプラミド、アタラックスなどは要注意です。薬剤の中止は困難なケースがほとんどだと思いますので、早期の安全対策が必要です。ドレーンやルート of の自己抜去を避けるために、本人の視界に入らないような工夫やドレーン刺入部痛のコントロール行います。点滴は可能な限り日中点滴とし、夜間は安心して眠れる環境づくりを計画します。また家族の協力を得ることも大切だと思います。ご本人にとって好みのものや写真、身の回りで使用するものの整理整頓など、家族だからこそわかる整理の仕方がご本人の安心感につながる場合があります。

せん妄の看護ケアの基本は昼夜のリズムを整えることです。夜間、不眠の患者に睡眠薬を使用する前に、痛みによる身体のつらさや不安など、眠れない原因をアセスメントし、原因に対する看護ケアを提供することで昼夜のリズムを整えていきましょう。



## スキンテア予防のワンポイントケア

看護部 皮膚・排泄ケア認定看護師 本間美穂



知らない間に皮膚裂傷が起きていることがありますか？

脆弱な皮膚が摩擦やズレによって裂けた状態をスキンテアといいます。

予防の基本は、皮膚の状態を整え、摩擦・ズレの発生を回避することです。

### ☆予防のポイント☆

**四肢の保護:** 肘までの手袋(アームウォーマー)、  
膝丈靴下の使用(レッグウォーマー、ハイソックス)  
抑制時の保護

**環境を整える:** ベッド柵保護(柵カバー、布団保護)、車いすのフットレスト保護

**愛護的なスキンケア:** 優しく体を洗い、優しく保湿剤を塗る

**愛護的な四肢の支持:** 下からそっと支える、掴まない

手袋や靴下が用意できない時の代用として、ストッキネットとオルソラップを使用した方法を紹介します。



①十分な長さのストッキネットを準備。

②ストッキネットの上からオルソラップを巻く

③最後にストッキネットを折り返すと、ずれたりはがれにくくなります。

保護する範囲は患者さんの動きにもよりますが、上肢は手首から肘、下肢は足首から膝下までとし、他は病衣で保護します。